

整理番号 10

川崎市SDGsプラットフォーム分科会 活動報告書

提出日 2024年3月27日

分科会名 「川崎雑紙3R促進研究会 地産地消効果の検証」分科会

分科会長 事業者名 別紙「活動計画書（第2号様式）」のとおり。

担当部署

担当者名

メール

電話番号

(1) 活動報告

別紙「成果報告書」のとおり。

(2) 関連するSDGsのゴールとゴール達成に向けた具体的な取組内容

別紙「活動計画書（第2号様式）」のとおり。

(3) 参加メンバー（事業者名）

別紙「活動計画書（第2号様式）」のとおり。

川崎市SDGsプラットフォーム分科会

川崎雑紙3R促進研究会 地産地消効果の検証

令和5年度活動報告

令和6年3月27日



KAWASAKI
SDGs



川崎市は持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。

9 産業と技術革新の
基盤をつくろう



12 つくる責任
つかう責任



13 気候変動に
具体的な対策を



15 陸の豊かさも
守ろう

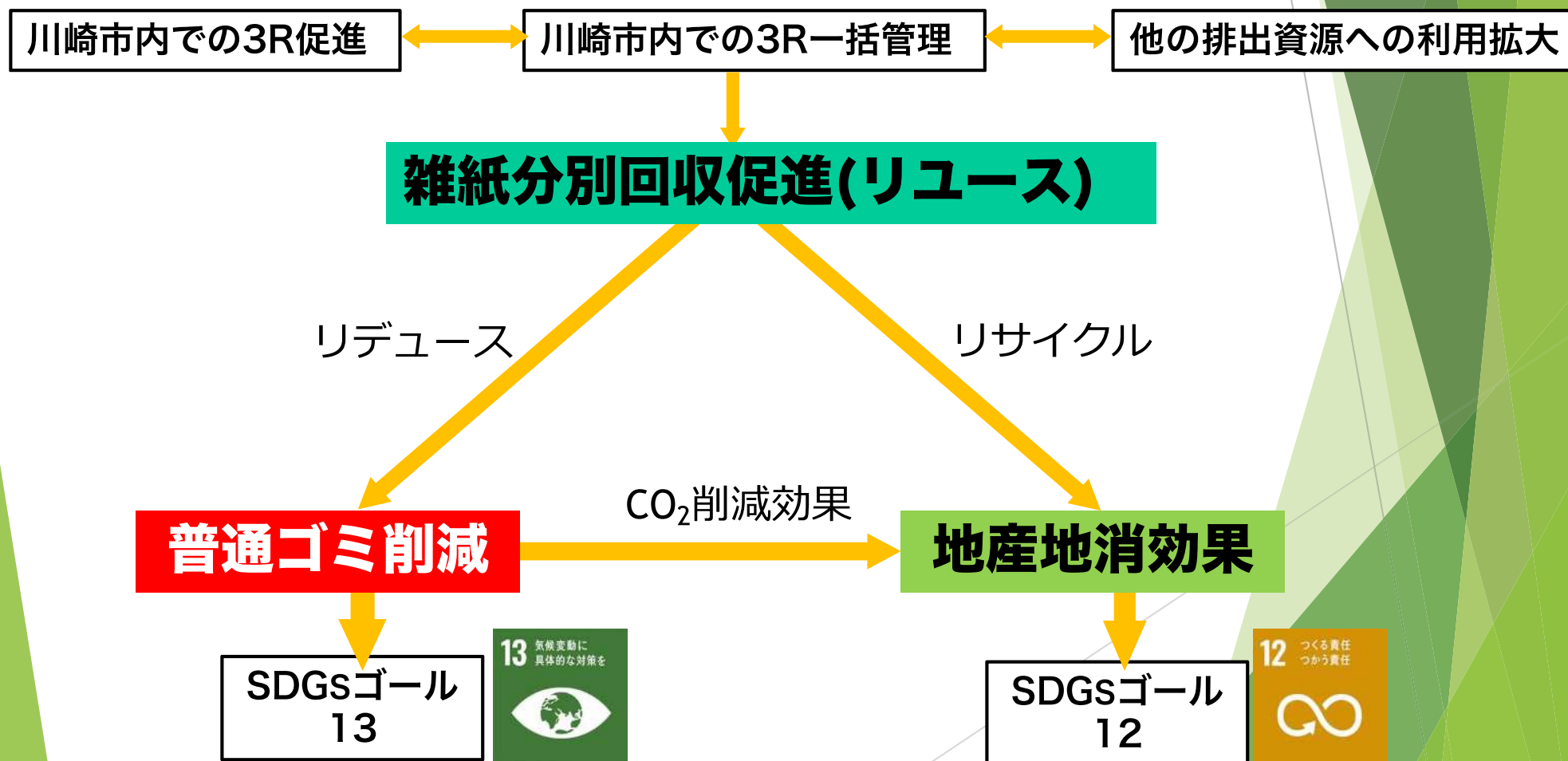


17 パートナーシップで
目標を達成しよう



設立趣旨

- ▶ 川崎市内におけるミックスペーパー分別回収率の向上（リデュース）に対する研究
- ▶ 同市内における当該ミックスペーパーをリユース・リサイクルする事による地産地消効果（CO₂削減効果等）の検証



設立背景

- ▶ 現在、川崎市内の一般家庭より排出されるミックスペーパーは年間約10,000トン程であるが、ミックスペーパーとしての分別回収率は30%台であり、約2万トンが普通ゴミとして焼却されているのが現状
- ▶ 更なる資源としてのリユース・リサイクルが必須
- ▶ 市内に紙類の溶解工場がある利点を活用し、回収されたミックスペーパーを、市内で資源としてリユースし、リサイクルする事が可能
- ▶ 紙類の川崎市内 3 R 一括管理による地産地消効果（CO₂削減効果）を目指す

川崎市一般廃棄物処理基本計画

～第2期行動計画（令和3年度）達成状況報告書～



KAWASAKI
SDGs

川崎市は持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。

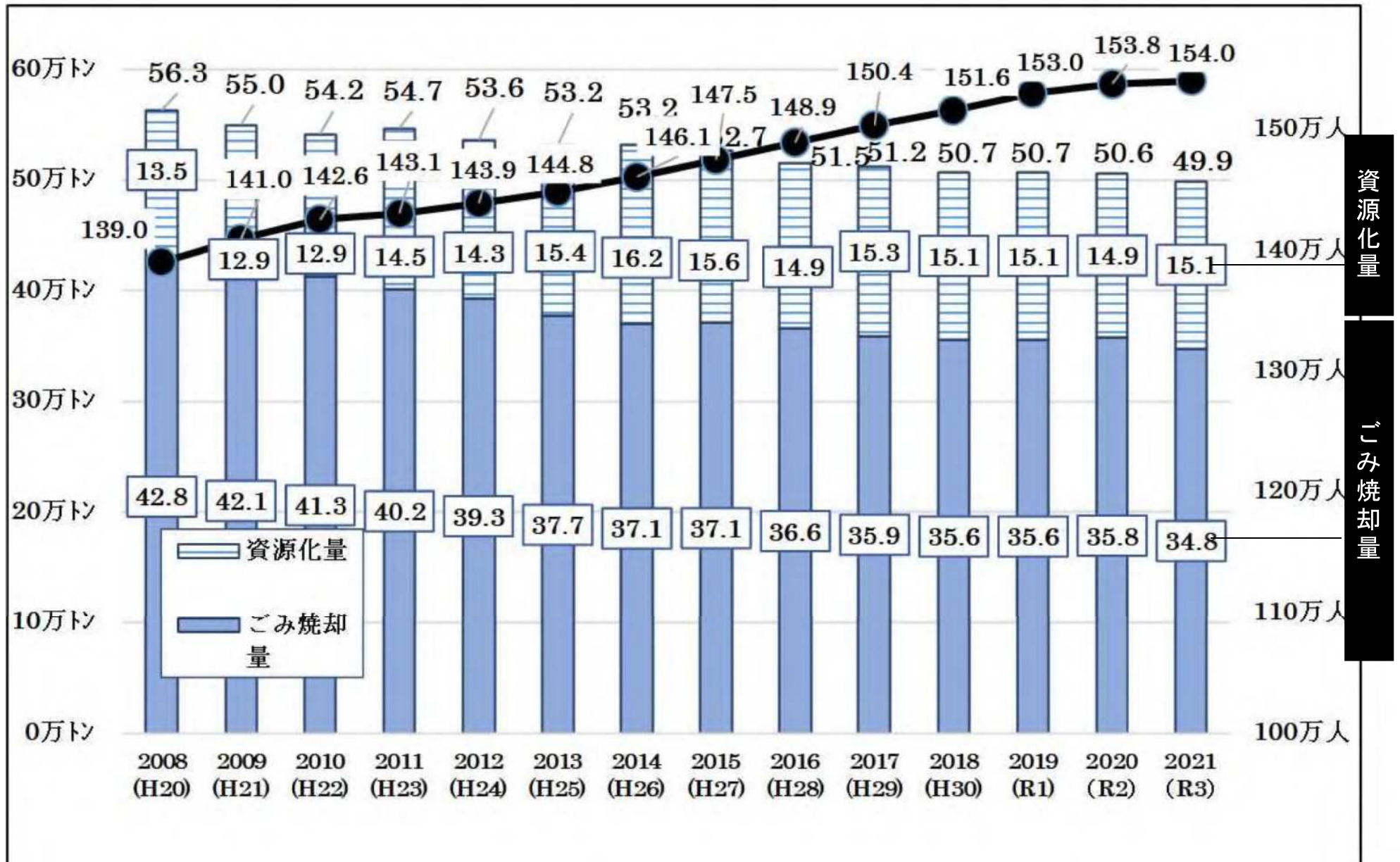


Carbon Zero Action
MIZONOKUCHI

COLORS
FUTURE!
ACTIONS
KAWASAKI 100th



川崎市のごみの総排出量と人口の推移



資料：川崎市一般廃棄物処理基本計画 第2期行動計画
 (令和3年度) 達成状況報告書より

川崎市のミックスペーパー分別率の現状

令和3年度の家庭系資源化率は基準年度(平成 28 年度)より低い数値で、近年、減少傾向が続いており、その要因としては**ミックスペーパーや資源集団回収(紙)**といった**紙資源物の資源化量が顕著に下がっている**。

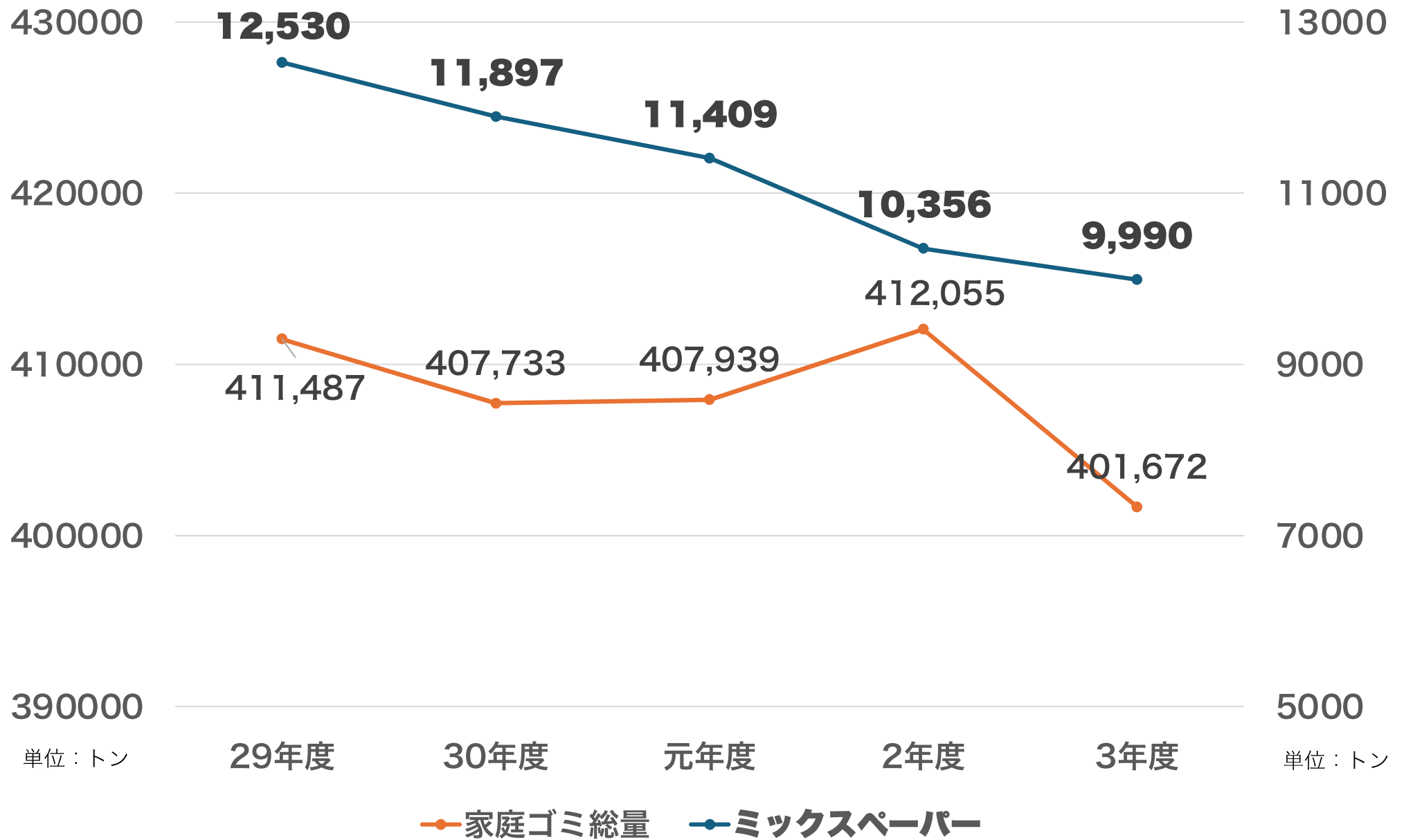
ミックスペーパーやプラスチック製容器包装における、**本市の分別率は 30%~40%で、取組の進んだ都市の分別率(50%~60%)と比較すると高いとは言えず、多くが普通ごみに排出されて焼却されている**。

項目	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
プラスチック製容器包装分別率 (%) ※	34.4	36.8	35.6	35.8	35.8	35.8	37.8	40.4
ミックスペーパー分別率 (%) ※	34.9	35.6	36.4	34.9	33.5	30.6	30.1	32.5
家庭ごみ合計 (t)	351,924	351,294	344,827	342,761	338,437	338,997	354,132	343,687
家庭系資源化量 (t)	102,298	100,021	95,524	93,129	90,142	88,758	91,388	89,627
家庭系資源化率 (%)	29.1	28.5	27.7	27.2	26.6	26.2	25.8	26.1
プラスチック製容器包装資源化量 (t)	12,395	12,587	12,753	12,686	12,723	13,170	14,288	14,527
ミックスペーパー資源化量 (t)	14,063	13,618	13,010	12,530	11,897	11,409	10,356	9,990
資源集団回収(紙)資源化量 (t)	45,635	43,962	41,705	39,741	37,569	35,699	35,794	34,864
ペットボトル資源化量 (t)	5,076	5,042	4,991	4,751	4,846	4,842	5,279	5,373

※分別率の算定に当たっては、組成調査のばらつきを補正するため、3か年移動加重平均によるごみ組成率を使用

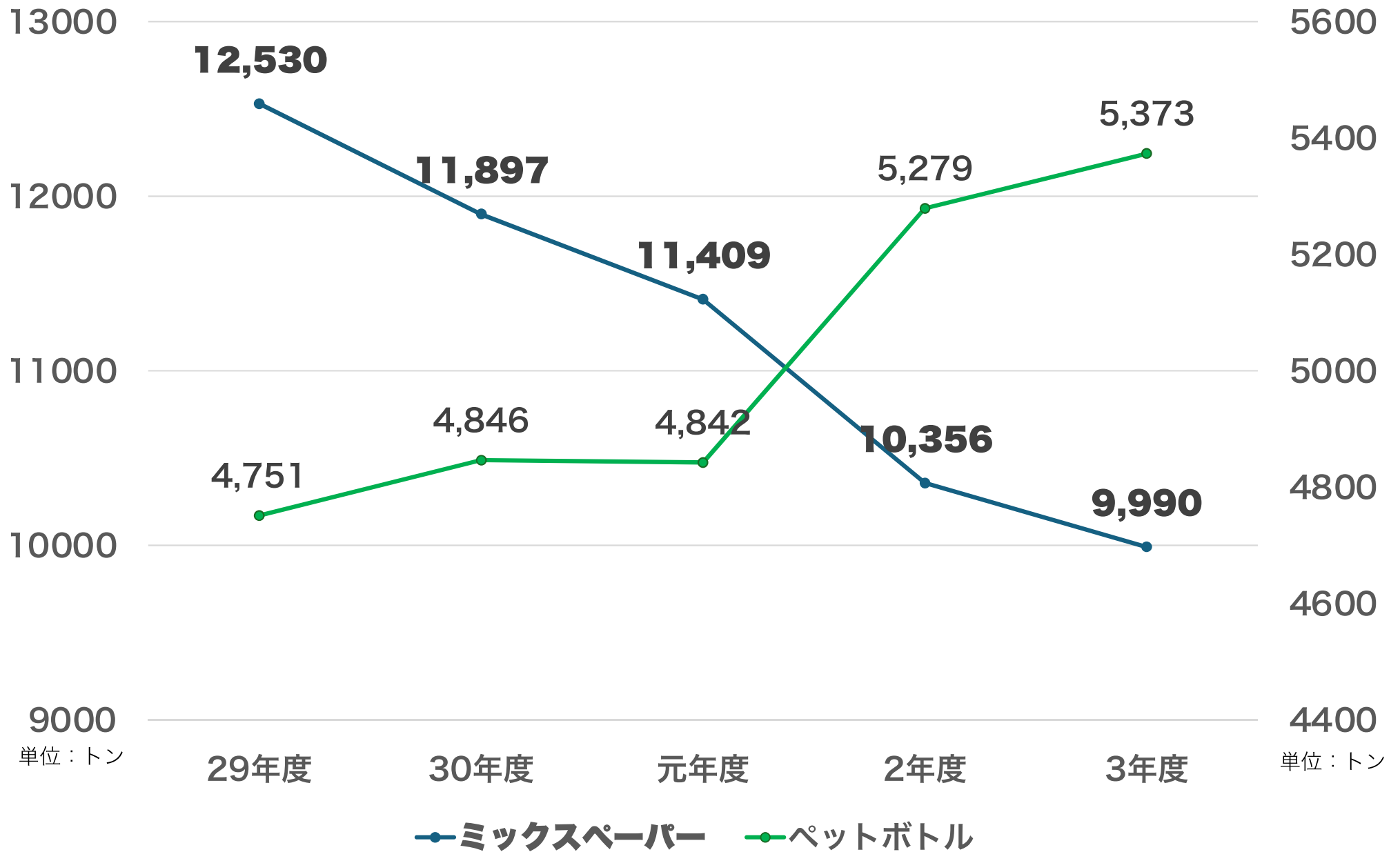
資料：川崎市一般廃棄物処理基本計画 第2期行動計画
(令和3年度) 達成状況報告書より

川崎市におけるゴミ処理状況 家庭ゴミの処理総量と、ミックスペーパー排出量の推移



資料：川崎市統計書 令和4年版（2022年3月発行）
川崎市環境局生活環境部減量推進課、収集計画課

川崎市におけるゴミ処理状況 ミックスペーパーとペットボトル排出量の推移



資料：川崎市統計書 令和4年版（2022年3月発行）
川崎市環境局生活環境部減量推進課、収集計画課

川崎市のミックスペーパー分別率の現状

焼却ごみ中のミックスペーパーの組成率は下がり、**含有量(推計)は 2.1 万 t** となった。ミックスペーパーの収集量は減少傾向にあり、分別が分かりにくいなど課題があるが、引き続き、分別に対する意識向上に向け取り組む。

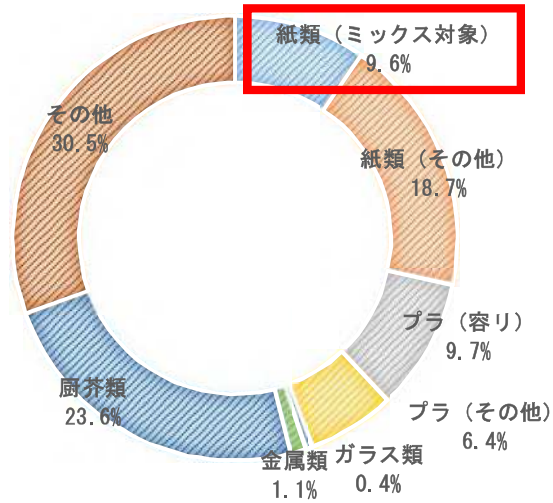
項目	H26 (基準年度)	H30	R1	R2	R3
焼却ごみ中のミックスペーパーの組成率	10.9%	9.9%	10.8%	9.6%	8.6%
焼却ごみ中のミックスペーパーの含有量 (推計)	26,248t	23,667t	25,920t	24,085t	20,720t
ミックスペーパー収集量	14,063t	11,897t	11,409t	10,356t	9,990t
ミックスペーパー分別率	34.9%	33.5%	30.6%	30.1%	32.5%
指数	100	95.9	87.6	86.2	93.2

※ 分別率の算定に当たっては、組成調査のばらつきを補正するため、3 か年移動加重平均によるごみ組成率を使用

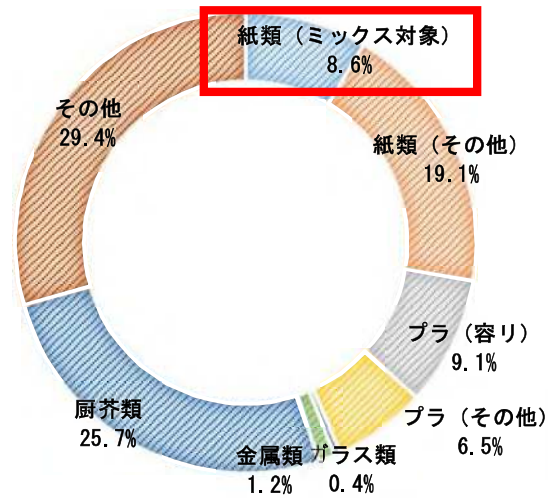
資料：川崎市一般廃棄物処理基本計画 第2期行動計画
(令和3年度) 達成状況報告書より

川崎市の焼却ゴミ組成調査結果

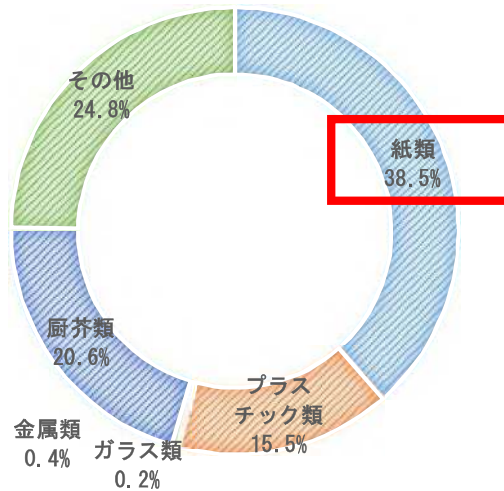
令和2年度家庭系焼却ごみ
組成調査結果(湿ベース)



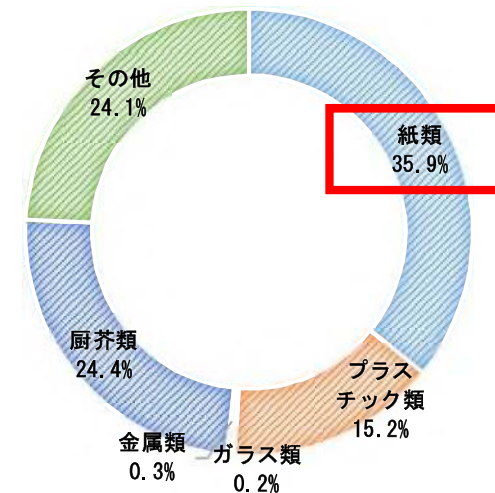
令和3年度家庭系焼却ごみ
組成調査結果(湿ベース)



令和2年度事業系焼却ごみ
組成調査結果(湿ベース)



令和3年度事業系焼却ごみ
組成調査結果(湿ベース)



資料：川崎市一般廃棄物処理基本計画 第2期行動計画
(令和3年度) 達成状況報告書より

今年度の活動 (2023年度)

教育機関における普及啓発

機密文書回収ボックスに
よる資源化への活動

教育機関における普及啓発

出前授業の実施

- 川崎市立御幸小学校の6年生が進める「みらいにゆめときぼうをプロジェクト」をテーマに、SDGsのゴール12「つくる責任、つかう責任」に理解を深めるための出前授業を実施



平間SDGsフェスへのブース出展

- 川崎市立平間小学校にて開催された「平間SDGsフェス」にブース出展し、ミックスペーパー分別回収促進に関するイベントを開催



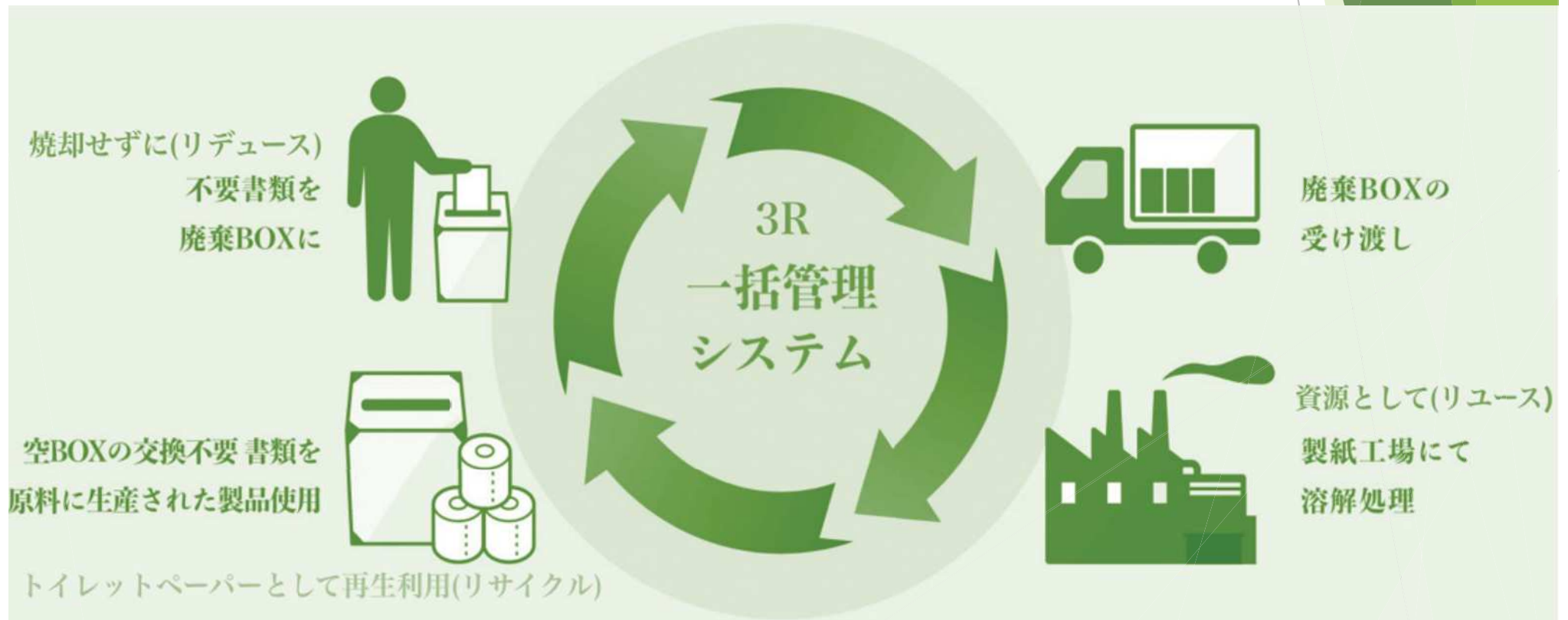
本活動の評価

次世代を担う子供たちに、あらたな価値観を創造する事の必要性を示す事が出来、また、今後SDGsの普及によるあらたなスタンダードによって生活をする子供たちと共に未来を考えていく事の重要性をあらためて認識する事が出来た。

機密文書回収ボックスによる 資源化への活動

目的

- ▶ 安全性の高い機密文書回収ボックスを用いて、シュレッダーにかけられる事で焼却処理されてしまう紙類をシュレッダーにかけずに回収し、川崎市内で資源としてリユースし、トイレットペーパーとしてリサイクルする。



機密文書回収ボックスによる 資源化への活動

▶ 主な設置個所より回収された紙類量及び効果

	川崎市立多摩病院	川崎市産業振興財団	その他、市内公 的機関、企業等	総量
回収紙類量	2,280kg	570kg	2,280kg	5,130kg
リサイクル トイレットペー パー換算ロール数	15,200 ロール	3,800 ロール	15,200 ロール	34,200 ロール



本活動の評価

30個所程の設置にて、トイレットペーパーとして上記ロール数のリサイクルが実現出来た事で、更に川崎市内の事業所へ設置の普及を進め、機密文書回収による資源としてのリユース・リサイクルが拡大出来る。



次年度に向けた活動展開 (2024年度)



教育機関における
効果検証



機密文書回収ボツ
クスによる資源化
の促進



全国都市緑化かわ
さきフェアにおけ
る普及啓発



Plus 4 for KAWASAKI

つなごう「かわさき循環社会」プロジェクトの
立ち上げ

教育機関における効果検証

川崎市立平間小学校における検証

- 平間小学校に年間を通じて機密文書回収ボックスを設置し、教職員、保護者が排出する紙類も含め、ミックスペーパーの回収をおこない、回収される紙類量及び当該効果を検証する。
- その際、下記のような個人情報を含んだ紙類の回収も可能とするため、事業所等で設置する機密文書回収ボックスを用いる。

幸区内小学校への展開

- 川崎市関係部署、関係機関の協力を得ながら、上記アクションを川崎市幸区にある小学校13校にて展開を目指す。

小中学校のSDGs活動への参加

- 今年度を実施した教育機関がおこなうSDGs活動に引続き参加し、本分科会活動の意義を積極的に発信する。



窓付封筒



カーボン紙



圧着ハガキ



パンフレット



名刺



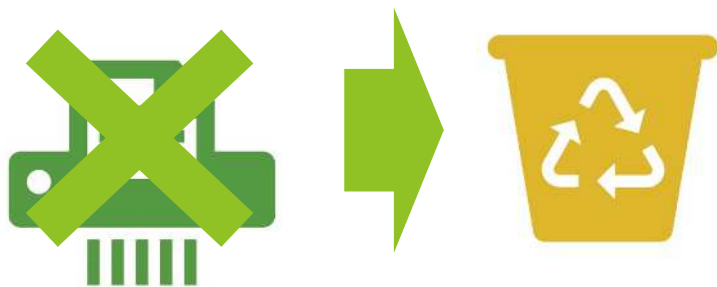
レシート



写真

など

機密文書回収ボックスによる 資源化の促進



23年度でシュレッダーにかけずに
リユース・リサイクルした紙類量

5,130kg

川崎市環境局が把握している事業系ごみのシュ
レッダーダスト年間焼却処分量（令和3・4年分
の平均）の0.29%に相当

次年度の目標

2%を回収
リユース・リサイクル
する事を目標に据え、引続き各
事業所の理解を得るよう活動を
継続拡大する。

全国都市緑化かわさきフェアにおける 普及啓発



会場での紙類の
3 R 一括管理を目指す

紙類の川崎市内 3 R 一括
管理のミニチュア版とし
て位置付け、本分科会活
動の普及に繋げる。

会場が必要とするトイレトペー
パーを、会場より排出されたミック
スペーパーを回収し、資源としてリ
ユース・リサイクルして使用する。

会場内でミックスペーパーをリユース・リサイクルする事による地産地
消効果 (CO₂削減効果等) の検証を
おこなう。

Plus 4 for KAWASAKI

つなごう「かわさき循環社会」プロジェクト

目的

- **川崎市民1,543,000人分の年間使用量に相当するトイレットペーパー**を川崎市の一般家庭より分別回収されたミックスペーパーで、**市内で資源としてリユースし、トイレットペーパーとしてリサイクル**する。

背景

- 現在、川崎市の一般家庭で分別回収されたミックスペーパーは、市内で資源としてリユースされ、トイレットペーパーとしてリサイクルされており、その数量は年間6,500万ロールに達する。

= 125万人分の年間使用量に相当 * 経産省2020年発表データにより算出

目標

- すべての川崎市民に **1日にあと4グラム（A4コピー紙1枚分）ミックスペーパーの分別**をしてもらい、全川崎市民の年間使用量に相当するトイレットペーパーの再生利用を実現する。